

JCMA 報告

**平成 25 年度
一般社団法人日本建設機械施工協会
研究開発助成
助成対象研究開発
決定のお知らせ**

平成 25 年度研究開発助成担当
技師長 鈴木 勝

I. はじめに

この度平成 25 年度の研究開発助成対象研究開発を決定しましたのでお知らせいたします。

この「研究開発助成」は、建設機械及び建設施工に関する技術等の向上と普及を図り、もって国土の利用、開発及び保全並びに経済及び産業の発展に寄与することを目的として優れた研究開発・調査研究に対して助成する制度で、本年度は第 7 回目となります。

過日研究開発助成審査委員会（委員長 岸野佑次 東北大学名誉教授）において厳正な審査を行い、今般応募 9 件の中から『環境に優しく豪雨と地震に強い新しい補強土壁工法の研究開発（神戸大学大学院工学研究科：教授 澁谷 啓氏）』の 1 件に対し助成することに当協会会長が決定しました。

なお、研究期間は平成 26 年 2 月以降から平成 27 年 3 月末で、研究開発成果は平成 27 年 11 月開催予定の「建設施工と建設機械シンポジウム」乃至は機関誌「建設機械施工」で発表される予定です。

II. 助成研究開発の概要

今回助成を決定した研究開発の概要は以下のとおりです。

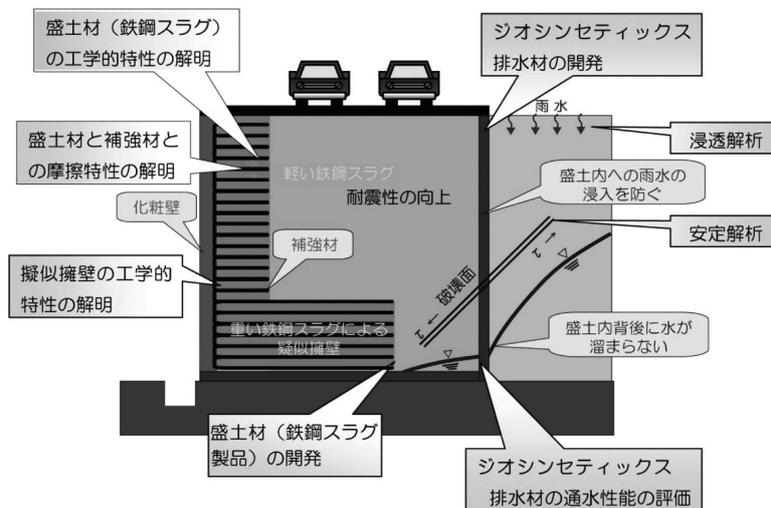
1. 環境に優しく豪雨と地震に強い新しい補強土壁工法の研究開発

神戸大学大学院工学研究科 教授 澁谷 啓氏
本研究では、豪雨・地震に強く、低コストで環境面でも安全な“鉄鋼スラグ補強土壁工法”の研究開発を目指すものである。

具体的には、リサイクル材料である鉄鋼スラグの利用促進を兼ねて、L 型スラグ擁壁・軽量スラグ盛土・L 型ジオシンセティクス排水材を補完的に組み合わせることにより、地震・豪雨に強く、低コストで環境負荷軽減に寄与する新しい補強土壁工を研究開発するものである（図—1）。

また、鉄鋼スラグ擁壁・盛土の力学・環境安全性に関する実証的研究を実施し、施工法及び締固め管理法についても研究開発する。

採択理由：国としても地滑り対策の研究に取り組んでいるところであり、時宜を得た研究であることが評価された。



図—1 鉄鋼スラグを用いた補強土壁の概要